



267号 発行所 / 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター 発行責任者 / 病院長 吉野 茂文 印刷 / ㈱アートネクスト



ビーンズ訪問看護ステーション

365日 24時間体制で訪問看護を行っています

笑顔の一步を共に目指します

まめな気配り、心配り

ビーンズ訪問看護ステーションの理念

ご本人様ご家族様を支援いたします。訪問看護の利用についてお悩みの方は、遠慮なくご相談ください。なお、サービスの利用方法や内容、費用等について当センターのホームページに掲載しています。

ご利用された方からは「訪問看護を利用してきてよかった」「介護者の相談にも乗ってもらえて助かった」と喜びの声をいただく反面「こんな制度があることを知らなかった」「もっと早く利用したかった」と訪問看護は、まだまだ十分周知されていないのが現状です。

当センターの訪問看護ステーションは、24時間体制で在宅療養をサポートし、症状観察、医療機器管理、医療処置、褥瘡予防、介護相談など在宅療養上のお世話や補助を行います。必要時には主治医・病院と連携し、ご希望の際は在宅で看取りまで支援しています。当センターのかかりつけでない方にも対応いたします。

訪問看護とは、かかりつけ医の指示のもと看護師がご自宅を訪問し看護サービスを提供するものです。



看護師長 加藤 かおり

気軽に相談してください



訪問看護ステーションのスタッフ

運営体制

訪問看護：医療保険・介護保険

看護体制：24時間体制(チームナーシング)

訪問看護スタッフ

- 管理者 1名(看護師長)
- 看護師 4名(非常勤職員1名)

訪問方法：自動車(5台)

外来診療担当医一覧表

2025年4月1日予定
(変更される場合があります)

グループ名	診療科名	月	火	水	木	金	特殊外来 ※要予約	
総合診療【G2】	総合診療	午前	佐藤 稷	佐藤 稷	佐藤 稷	佐藤 稷	佐藤 稷	人工ペースメーカー外来
	糖尿病・血液内科	午前(新来) (再来)		周山拓也(非)	松井久未子	周山拓也(非) 鶴 政俊	秋山 優(非)	リウマチ外来
	歯科口腔外科(予約制)	午前	板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆	不妊症外来
女性総合診療	女性総合診療(予約制)	午後	早野 智子				難聴・補聴器外来	
循環器病総合診療【G2】	循環器内科	午前(新来) (再来)	濱田 頼臣	早野 智子	早野 智子		竹中 仁	頭痛外来
	呼吸器内科	午前 午後	頼原 隆(非)	神田英樹(非)			頼原 隆(非) 鳥井 亮(非)	スポーツ外来
	脳神経内科 (午後外来は予約制)	午前(新来) (再来)	天野美和(非) 城野喬史(非)	富田 周作	田中信一郎		田中信一郎	健康診断
	脳神経外科	午前	副島 慶輝	山下 勝弘		山下 勝弘	副島 慶輝	機能的脳神経外科
	機能的脳神経外科(毎月最終水曜日(予約制))	午前			藤岡裕士(非)			手の外科
	消化器内科	午前	千原 大典	坂口 栄樹 戒能 聖治	戒能 聖治 小川 亮	千原 大典 坂口 栄樹	小川 亮	足の疾患センター
精神科(予約制)【G5】	午前	若林 祐介	若林 祐介	若林 祐介	若林 祐介	若林 祐介	骨軟部腫瘍	
心理カウンセリング(予約制)		黒木 浩子 佐村さや香	黒木 浩子 佐村さや香	黒木 浩子 (午前のみ) 佐村さや香	佐村さや香	黒木 浩子 (午後のみ) 佐村さや香	パーキンソン病	
がん消化器・肝臓病総合診療【G5】	乳腺外科	午前	長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子	セカンドオピニオン外来
	外科	午前(新来) (再来)	吉野 茂文	来嶋 大樹	坂本 和彦	吉野 茂文	吉田 晋	
	消化器外科		坂本 和彦	山本 常則	吉田 晋	山本 常則	林 弘入 来嶋 大樹	
	呼吸器外科		岩 藤 真生				村上 雅憲	
	内視鏡外科							
	心臓血管外科	午前			村上 雅憲			
	足の疾患センター(予約制)	午後			村上 雅憲			
	肝臓内科	午前		坂口 栄樹		坂口 栄樹		
	腫瘍内科【Q2】	午前						
	放射線治療科【H2】	午前 午後	河村 光俊 河村 光俊	河村 光俊 河村 光俊	河村 光俊 河村 光俊	河村 光俊 河村 光俊	河村 光俊 河村 光俊	
麻酔科	午前 (11時以降予約のみ)	内本 亮吾	藤田 文彦 北 仁志	藤田 文彦	藤田 文彦 福井 健彦	藤田 文彦		
	午後		北 仁志 (術前診察)		北 仁志 (術前診察)			
長寿医療総合診療【G1】	整形外科	午前	伊原公一郎 篠原道雄 山崎 和夫	峯 孝友 坪 根 徹	栗山龍太郎 篠原道雄	伊原公一郎 坪 根 徹	峯 孝友 栗山龍太郎 山崎 和夫	
	リウマチ科	午前		峯 孝友			峯 孝友	
	泌尿器科	午前(新来) (再来)	鄭 泰秀 塩見 研二 (10時から)	塩見 研二 鄭 泰秀 (10時から)	鄭 泰秀 塩見 研二 (10時から)	鄭 泰秀 塩見 研二 (10時から)	塩見 研二 鄭 泰秀 (10時から)	
	眼科(予約制)	午前	砂田瑞希(非) (再診のみ)	播磨 希	播磨 希 (再来のみ)	播磨 希	播磨 希	
	耳鼻いんこう科	午前 午後		岡崎吉紘 (10時以降予約のみ)		岡崎吉紘 (10時以降予約のみ)	岡崎吉紘 (10時以降予約のみ)	
	リハビリテーション科	午前	担当 医	担当 医	担当 医	担当 医	担当 医	
透析センター	透析センター		鄭 泰秀	鄭 泰秀	鄭 泰秀	鄭 泰秀		
成育医療総合診療【G3】	小児科	午前 午後	佐々木聡子	牧 隆司	佐々木聡子	牧 隆司	牧 隆司	
	皮膚科(予約制)	午前	下村尚子(非)				下村尚子(非)	
	形成外科	午前		高須啓之(非)				
産婦人科	午前	林 公一	林 公一	齋藤剛(非)	林 公一	林 公一		
救命救急センター	救命救急センターER24	24時間	担当 医	担当 医	担当 医	担当 医	担当 医	
生活習慣病センター	生活習慣病センター	午前		松本 裕美	松本 裕美	松本 裕美		

赤字は4月の変更予定です。

〒752-8510 下関市長府外浦町1番1号

国立病院機構 関門医療センター

診療受付時間：午前8:30~11:30

午後(各診療科外来にお問い合わせください)

※休診日:土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12/29~1/3)

★代表

★地域医療連携室(医療関係者専用)

★透析センター

https://kanmon.hosp.go.jp/

TEL(083)241-1199

FAX(083)241-1301

TEL(083)241-1191(2561)

FAX(083)241-1302

FAX(083)241-1308

これから進む 診療科
総合診療科

当センターで研修したことでキャリアの選択肢が広がりました。地域医療研修で離島に、多併存疾患を抱える患者さんを総合的に診るといふことに強い興味を持ちました。総合診療科は2018年の新専門医制度で新たに認められた若い科ですが、まずは総合診療専門医取得を通して患者さんだけでなく医療者からも必要とされるプライマリ・ケア医になりたいと思います。



研修医 重本 航輝

これから進む 診療科
整形外科

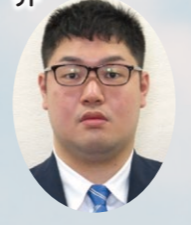
酸いも甘いも経験した今、1年目の4月に掲げた「理想の医師像」に少しだけ近づけているのではないかと思います。春からは、志していた整形外科医としての道を歩み始めますが、当センターの研修プログラムのおかげでその礎を築くことができました。毎日何件も執刀し病棟管理や外来で多忙を極める中、丁寧に指導してくださる上級医の先生方の存在はとてん大きな励みです。素晴らしい環境で学べたことを幸せに思います。



研修医 外丸 遼太

これから進む 職業
美容・アンチエイジング業界

新しいことを日々学び続けた2年間は、時に大変でもありましたが、たくさんの方の先生方、同僚、患者さんに支えられて、充実したものとなりました。来年度からは美容アンチエイジング業界に進みます。今後は技術の習得や向上はもちろん、マネジメントやマーケティングの能力も高め、広い視野を持った人間へと近づいていければと思っています。



研修医 柄本 史磨

これから進む 診療科
消化器内科

当直を含め救急患者を診る数が多く、多彩な症例を経験することができました。また、いろんな大学から集結した同期や先輩、後輩と過ごして、チーム医療を実感することができました。閉門で学んだことをもとに初心を忘れず、患者さんの気持ちを取り戻すことができ、知識や手技の向上に日々努める医師になりたい。



研修医 中野 すず

これから進む 診療科
循環器内科

閉門医療センターでの2年間の研修は、3次救急の現場で様々な症例に触れ、実践的なスキルを磨く貴重な経験でした。研修医が多いため新しい知識や症例の情報交換を頻繁に行うことが出来て、成長につながったと思います。「先生に診てもらいたい」と、患者さんから言ってもらえるような医師になりたいです。



研修医 中原 弘淳

これから進む 診療科
整形外科

閉門での研修は、同期に恵まれたと感じます。また、救急科では first touch から研修医が問診、治療まで行うことができ臨床的な経験を積むことができました。また他の診療科でも積極的に参加できる点も良かった点と感じられます。私は患者さんの意思に寄り添い、適した治療を行えるように常に精進している医師になりたいと思います。



研修医 中村 桃子

これから進む 診療科
泌尿器科

閉門医療センターでの研修では、救急科のローテーションの当直で様々な疾患の方を診る機会があり勉強になりました。また、上級医の先生方の診療を見ながら、患者さんへの説明の仕方や声掛けの仕方、研修を始めた時と比べて成長できたと思います。私は来年度から泌尿器科に進みます。患者さんの話にきちんと耳を傾け説明をこまめに行うことができよう心掛けていきたいです。



研修医 平野 玉樹

これから進む 診療科
小児外科

閉門医療センターでの研修では、幅広い医学的知識の習得や、手技の獲得を達成できたと思います。特に救急対応に関しては、研修初期から一番大きく成長できた実感しています。また志望科である外科に関しては、研修後半に多くローテーションに指導いただくことができました。小児外科では命の扱いが特に難しいと思います。患者さんやそのご家族様に頼られるような医師になりたいです。



研修医 宮崎 芽輝

これから進む 診療科
消化器内科

閉門医療センターでの研修は、研修医の数が多く、後輩同期と切磋琢磨しながら研鑽を積み重ねることができ、意欲や力量に合わせて実践的な診療技術を学べるのが特徴だと思っています。わたしは今後消化器内科専攻医として出身大学に戻りますが、上級医の先生方から教わった診療に携わる姿勢と激励の言葉を糧に、地域医療に貢献できる信頼される医師を目指し、精進してまいります。



研修医 吉武 理沙

初期臨床研修 二年間を終えて

贈る言葉

研修医のみなさん、研修修了、誠におめでとうございます。2年前の自分を振り返って、今日の姿が想像できたでしょうか。各診療科での診療に加え、当直や救急対応では戸惑うことや神経をすり減らすこともあったことと努めてきた姿勢に敬意を表します。閉門医療センターで出会った指導医はもちろん先輩研修医、後輩研修医は皆さんの今後の貴重な財産です。また、2年間に培ってきた知識やスキルは今後の長い医師人生の礎になることでしょ。これからの専攻医としてのそれぞれの道のりは必ずしも平坦な道ばかりではなく、険しいことや遠回りをしなければならぬこともあるかも知れませんが、しつかりと足元を見つめつつ、遠くの目標を定めて歩んでいってください。新たなステージに向けて第一歩を踏み出す皆さんの未来が希望に満ちたものになることを心より祈念しております。最後に、研修医の成長を見守り、支えていただいた病院スタッフの皆様、また患者さん、この場をお借りして御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



私は閉門医療センターでの初期研修で、同じような疾患でもそれぞれの背景が異なるため、個々に応じた医療を実践する必要があることを学びました。今後は山口大学整形外科へ入局します。整形外科として治療からリハビリ、さらには今後の人生に関わることもできる医師になりたいと思います。2年間という短い期間でしたが、関わったすべての方々に感謝申し上げます。



臨床研究部長 研修部長 戒能 聖治

これから進む 診療科
整形外科

私は来年度から整形外科医として働きます。他病院の同期の多くが「助手しか経験したことがない」と話す中、閉門では執刀の機会をいただきました。自ら執刀することで手術の流れや難しさ、楽しさを学ぶことができました。この経験は「医療を通して患者さんの生活を豊かにする医師」という私の理想像を達成する基盤となったと考えます。改めてこの2年間私に関わってくれた皆さんに心より感謝申し上げます。



研修医 井浦 直人

これから進む 診療科
呼吸器内科

初期研修の2年間で、嬉しいことも苦しいことも含め様々な経験をさせていただきました。これからは主治医として患者さんの不安に寄り添い、患者さんご家族様を第一に考え不利益のないように対応できるような医師になりたいと思います。今後も初心を忘れず精進していききたいと思います。



研修医 岩倉 直希

これから進む 診療科
整形外科

私は閉門医療センターでの初期研修で、同じような疾患でもそれぞれの背景が異なるため、個々に応じた医療を実践する必要があることを学びました。今後は山口大学整形外科へ入局します。整形外科として治療からリハビリ、さらには今後の人生に関わることもできる医師になりたいと思います。2年間という短い期間でしたが、関わったすべての方々に感謝申し上げます。



研修医 大角 隆次郎

これから進む 診療科
麻酔科

来年度から福岡大学医学部付属病院の麻酔科で勤務させていただきます。閉門で研修してよかった点は、当直で多岐に渡る疾患を診られたこと、大病院と比較して自由に診療できる環境で麻酔を学べたことです。研修の2年間で閉門で造っていたいた医療を基礎に3年以降も多くの事を吸収し、患者さんが手術された事に気づかないような麻酔をかけられるよう精進してまいります。



研修医 木下 公介

これから進む 診療科
救急科

閉門で研修した2年間は、これまでの人生の中で最も楽しく、充実したものとなりました。先生方や先輩だけでなく、同期や後輩、他職種の方々、患者さんや地域との関わりの中で学ぶ事が大変多く、医師としてだけでなく人としても大きく成長する機会となりました。下関での学びを活かし、4月からは母校の救命救急センターで働かせて頂きます。これから出会う沢山の命を守るために精進し続けたいと思います。



研修医 熊手 紫乃

これから進む 診療科
小児科

小児科医として大切なことは、患者さんのご家族様との連携だと考えています。ご家族様の話を傾聴した上で、子供の診療に臨みたいと思います。初心を忘れず、寄り添える医師を目指します。



研修医 近藤 圭甫

地域医療者のための学習会「閉門フォーラム」(予定)
18:30~19:30 閉門医療センター3Fホール
令和7年4月10日(木) 退院支援における社会資源の活用
医療社会事業専門員 河本 香織

興味のある方はどなたでも参加できます。(事前申込不要)